

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの期間限定で使用できます。

CASBEE 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年追加版Ver.2 (BPI/BEI対応) | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010bpi&bei(v.2.11)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ドン・キホーテ箕面牧落店 新築工事	階数	地上4F
建設地	箕面市牧落4丁目244-2, 244-3, 245, 246-1, 247-1	構造	S造
用途地域	近隣商業地域・準防火地域	平均居住人員	2,250 人
気候区分		年間使用時間	6,935 時間/年
建物用途	物販店, 工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年5月 予定	評価の実施日	2014年10月8日
敷地面積	2,911 m ²	作成者	ジェイズコーポレーション 神谷 寿
建築面積	2,466 m ²	確認日	2014年10月8日
延床面積	9,460 m ²	確認者	ジェイズコーポレーション 神谷 寿



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂ 排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合	節水型器具や自動水栓等を用い、節水に努めている。外構緑化を実施している。	
その他	0	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
複層ガラスを採用している。	売場の天井高は3.3m以上あり、平均階高は3.9m以上となっている。節水型器具を採用している。	植栽により、良好な景観を形成している。空調室外機のほとんどをGL+10m以上の位置に設置し、敷地内歩行者空間等の暑熱環境を緩和している。人が出入りできる屋上があり、一部緑化をしている。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
ERR換算値=25%である。LED照明設備を採用している。	自動水栓に加え、擬音装置を用いている。躯体+軽鉄+仕上材であり、分別が容易となっている。	建物利用者のための適切な量の自転車置場・駐車スペース・荷捌き用車両の駐車施設の確保をしている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム

大阪府の重点評価(結果)

Osakafu-新築・既存2010V1.03

【建物概要】	建物名称	(仮称)ドン・キホーテ箕面牧落店 新築工事		
	建設地	箕面市牧落4丁目244、244-2、244-3、245、246-1、247-1		
	用途/区分	物販店 工場		
【評価結果】	CASBEE 総合評価			B+
	CO2削減			4
	省エネ対策			4
	みどり・ヒート アイランド対策			2
	エネルギー消費量の報告			報告しない

【評価項目】				
省エネルギー対策		① CO2削減		
		② 省エネ対策		
項目		評価内容	スコア	評価
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.5	4
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 3」のスコアによる評価	建物全体 1.0 住戸・宿泊	4
	建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	4.7	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	4.4	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価	3.0	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価	3.4	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策		
項目		評価内容	スコア	評価
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	2
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	2.0	
その他				
先進的技術の導入	技術の名称		考慮事項	
特に配慮した事項				